



2016年度（平成29年3月期）  
通期決算

# 参考資料

2017年5月10日  
エーザイ株式会社

お問い合わせ

PR部： TEL 03-3817-5120

IR部： TEL 03-3817-3016

<http://www.eisai.co.jp/>

## 〔将来予想に関する事項と事業等のリスク〕

本発表において提供される資料ならびに情報は、現在における予想、目標、評価、見通し、リスクを伴う想定などの不確実性に基づくものを含んでいます。従って、さまざまな要因の変化により、将来予想などが実際の結果と大きく乖離する可能性があります。リスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった日本および国際的な経済状況が含まれています。

当社グループの連結業績を大幅に変動させる、あるいは投資判断に重要な影響を及ぼす可能性のあるリスクは、次のとおりです。なお、これらのリスクは、本資料作成日現在において判断、予想したものです。

製品の安全性および品質に関するリスク、副作用発現のリスク、訴訟に関するリスク、法規制に関するリスク、知的財産に関するリスク、新薬開発の不確実性に関するリスク、医療費抑制策に関するリスク、ジェネリック医薬品に関するリスク、海外展開におけるリスク、他社とのパートナーシップに関するリスク、企業買収や製品買収等に関するリスク、外部への業務委託に関するリスク、ITセキュリティおよび情報管理に関するリスク、財務報告に係る内部統制の整備等に関するリスク、金融市況および為替の動向に関するリスク、工場の閉鎖または操業停止のリスク、環境に関するリスク、ならびに災害等に関するリスク

## 目次

1. 連結損益計算書	1
2. セグメント情報	2
3. 報告セグメント別情報	3
4. 主力品売上収益	7
5. セグメント別売上収益見通し	9
6. 連結包括利益計算書	10
7. 連結キャッシュ・フロー計算書	11
8. 資本的支出及び減価償却費の状況	12
9. 連結財政状態計算書	12
10. 連結四半期業績の推移	14
11. 主な連結業績項目の推移	17
12. 株式の状況	19
13. 従業員数	20
14. 主要開発品	21

### 為替レート

		米国 (米ドル/円)	欧州 (ユーロ/円)	英国 (ポンド/円)	中国 (人民元/円)
2014年度 通期	期中平均レート	109.92	138.77	176.79	17.73
	期末日レート	120.17	130.32	178.07	19.36
2015年度 通期	期中平均レート	120.14	132.57	181.30	18.85
	期末日レート	112.68	127.70	161.92	17.39
2016年度 通期	期中平均レート	108.38	118.78	141.59	16.10
	期末日レート	112.19	119.79	140.08	16.29
2017年度	前提レート	113.00	120.00	141.00	16.30

- ・ 当社の連結財務諸表は国際会計基準（IFRS）にて開示しています。
- ・ 当社グループは、セグメントを医薬品事業とその他事業に区分しており、医薬品事業を構成する日本（医療用医薬品、ジェネリック医薬品、一般用医薬品等）、アメリカス（北米、中南米）、中国、アジア（韓国、台湾、香港、インド、アセアン等）、EMEA（欧州、中東、アフリカ、オセアニア）の5つの事業セグメントを報告セグメントとしています。  
 なお、当連結会計年度において、日本事業の継続的な成長に向けた再編に伴い、前連結会計年度に報告セグメントを構成していた「薬粧－日本」を「日本医薬品事業」へ統合しました。また、当連結会計年度より、医薬品事業およびその他事業のセグメント利益の算定方法を変更したため、連結損益計算書の「その他の損益」を医薬品事業とその他事業へ配分していません。前連結会計年度まで医薬品事業とその他事業へ配分していた「その他の損益」は、「親会社の本社管理費等」に含めて表示しています。当該変更による連結財務諸表への重要な影響はありません。  
 なお、本資料のセグメント情報に関する前期の数値は、上記報告セグメントの変更および算定方法の変更を反映していません。
- ・ 当資料中の数字は、四捨五入で表示しています。

## 1. 連結損益計算書

(億円、%)

	2015年度		2016年度				2017年度	
	通期	売上比	通期	売上比	前期比	増減額	通期見通し	売上比
売上収益	5,479	100.0	5,391	100.0	98.4	△ 88	5,755	100.0
売上原価	1,945	35.5	1,959	36.3	100.7	14	2,060	35.8
売上総利益	3,535	64.5	3,432	63.7	97.1	△ 103	3,695	64.2
販売費及び一般管理費	1,928	35.2	1,797	33.3	93.2	△ 131	1,775	30.8
販売費	612	11.2	559	10.4	91.3	△ 53	—	—
人件費	821	15.0	784	14.5	95.5	△ 37	—	—
管理費他	496	9.1	455	8.4	91.7	△ 41	—	—
研究開発費	1,223	22.3	1,125	20.9	92.0	△ 98	1,340	23.3
その他の収益	177	3.2	136	2.5	76.9	△ 41	20	0.3
その他の費用	41	0.7	56	1.0	136.7	15	—	—
営業利益	519	9.5	591	11.0	113.7	71	600	10.4
金融収益	20	0.4	18	0.3	91.3	△ 2	—	—
金融費用	35	0.6	32	0.6	93.1	△ 2	—	—
税引前当期利益	505	9.2	577	10.7	114.3	72	583	10.1
法人所得税	△46	△0.8	154	2.9	—	200	—	—
当期利益	550	10.0	422	7.8	76.7	△ 128	413	7.2
当期利益の帰属								
親会社所有者	549	10.0	394	7.3	71.6	△ 156	398	6.9
非支配持分	1	0.0	29	0.5	2598.5	28	—	—

当期包括利益	165	3.0	368	6.8	223.9	204
--------	-----	-----	-----	-----	-------	-----

EPS (円)	192.2	137.6	139.2
DPS (円)	150.0	150.0	150.0
ROE (%)	9.4	6.8	6.8
DOE (%)	7.3	7.4	7.4
海外売上収益比率 (%)	46.0	45.2	

- ・通期見通しには当社が2017年5月3日に発表した、米国における制吐剤「Aloxi」の特許侵害訴訟に関するリスクによる影響は含めていません。
- ・通期見通しのその他の収益は、その他の費用を控除して表示しています。
- ・当連結会計年度より、販売費及び一般管理費の内訳を組替えしました。この変更に合わせて、前連結会計年度の数値を組替えて表示しています。
- ・EPS：基本的1株当たり当期利益、DPS：1株当たり配当金、ROE：親会社所有者帰属持分当期利益率、DOE：親会社所有者帰属持分配当率

## &lt;コメント&gt;

<p>■売上収益</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ レンビマ、フィコンパの拡大による増加</li> <li>・ EAファーマ株式会社の連結子会社化による増加</li> <li>・ 日本における薬価改定による減少</li> <li>・ 為替の影響による減少（現地通貨ベースではすべての海外セグメントで増加）</li> </ul>
<p>■販売費及び一般管理費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ オペレーションの高質化・効率化による減少</li> <li>・ 為替の影響による減少</li> <li>・ 前期に米国での構造改革費用の発生による減少</li> </ul>
<p>■研究開発費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 為替の影響による減少</li> <li>・ 共同研究開発テーマの進捗に応じたマイルストーンペイメントの受領</li> </ul>
<p>■その他の収益</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子会社株式の取得に伴う一時収益（割安購入益）の計上による増加</li> </ul>
<p>■当期利益</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前期は、米国における子会社株式譲渡等に伴い税金費用が減少</li> </ul>
<p>■為替による影響額</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 売上収益：△304億円、営業利益：△12億円</li> </ul>
<p>■為替感応度 (1円の円高に対しての年間影響額)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 売上収益：米ドル △10.9億円、ユーロ △2.6億円、英ポンド △0.3億円、人民元 △30.6億円</li> <li>・ 営業利益：米ドル 2.6億円、ユーロ △1.7億円、英ポンド 0.7億円、人民元 △14.4億円</li> </ul>

## 2. セグメント情報

## 1) セグメント売上収益

(億円、%)

	2015年度	通期	2016年度	
	通期		前期比	為替影響除く 前期比
医薬品事業（報告セグメント）計	5,318	5,301	99.7	105.3
日本 医薬品事業	2,849	2,911	102.2	102.2
アメリカス 医薬品事業	1,222	1,172	95.9	106.3
米国	1,210	1,157	95.6	106.0
中国 医薬品事業	493	493	100.0	117.0
アジア 医薬品事業	340	347	102.2	113.0
EMEA 医薬品事業	413	378	91.5	103.7
その他事業	162	90	55.5	59.0
連結売上収益	5,479	5,391	98.4	103.9

・外部顧客に対する売上収益を示しています。

## 2) セグメント利益

(億円、%)

	2015年度	通期	2016年度	
	通期		前期比	為替影響除く 前期比
医薬品事業（報告セグメント）計	1,689	1,733	102.6	108.3
日本 医薬品事業	1,143	1,033	90.4	90.4
アメリカス 医薬品事業	236	344	146.0	161.9
中国 医薬品事業	126	137	109.1	140.5
アジア 医薬品事業	83	93	112.6	127.0
EMEA 医薬品事業	102	125	122.2	130.8
その他事業	33	15	45.9	47.3
研究開発費	△1,223	△1,125	92.0	99.1
親会社の本社管理費等	△130	△126	96.5	95.5
割安購入益	—	93	—	—
子会社株式売却益	150	1	0.5	0.5
連結営業利益	519	591	113.7	116.0

・当連結会計年度より、医薬品事業およびその他事業のセグメント利益の算定方法を変更したため、連結損益計算書の「その他の損益」を医薬品事業とその他事業へ配分していません。前連結会計年度まで医薬品事業とその他事業へ配分していた「その他の損益」は、「親会社の本社管理費等」に含めて表示しています。この変更に合わせて、前連結会計年度の数値を組替えて表示しています。

## 3. 報告セグメント別情報

## 1) 日本 医薬品事業

(億円、%)

	2015年度	2016年度	
	通期	通期	前期比
売上収益	2,849	2,911	102.2
医療用医薬品	2,339	2,440	104.3
ジェネリック医薬品	285	280	98.4
一般用医薬品等	181	190	105.3
診断薬	44	—	—
セグメント利益	1,143	1,033	90.4
<b>日本 医療用医薬品 主力品売上収益</b>			
ヒト型抗ヒトTNF $\alpha$ モノクローナル抗体 ヒュミラ	326	377	115.4
アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤 アリセプト	405	295	73.0
疼痛治療剤（神経障害性疼痛・線維筋痛症） リリカ	247	243	98.2
プロトンポンプ阻害剤 パリエット*	304	212	69.6
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	208	182	87.2
不眠症治療剤 ルネスタ	60	80	134.0
抗がん剤 ハラヴェン	68	78	114.2
経口抗凝固剤 ワーファリン	76	68	89.0
分岐鎖アミノ酸製剤 リーバクト*	—	67	—
成分栄養剤 エレンタール*	—	66	—
骨粗鬆症治療剤 アクトネル	64	56	87.5
抗がん剤 レンピマ	15	27	175.5
抗てんかん剤 フィコンパ	—	5	—
<b>日本 一般用医薬品等 主力品売上収益</b>			
ビタミンB2主剤「チョコラBBプラス」等 チョコラBBグループ	111	124	112.0

・パリエットには、ヘリコバクター・ピロリ除菌用3剤組み合わせパック製剤「ラベキュアパック400/800」および「ラベファイナック」の売上収益を含めています。

・リリカの売上収益は共同販促収入です。

・2015年12月28日付で、当社の診断薬事業子会社のエーティア株式会社を譲渡しました。

\* EAファーマの取り扱い製品です。

## 2) アメリカス 医薬品事業 (北米、中南米)

(億円、%)

	2015年度	2016年度	
	通期	通期	前期比
売上収益	1,222	1,172	95.9 <106.3>
米国	1,210	1,157	95.6 <106.0>
セグメント利益	236	344	146.0 <161.9>
<b>アメリカス 主力品売上収益</b>			
制吐剤 Aloxi	547	481	87.9 <97.4>
米国 (百万米ドル)	547 (455)	481 (444)	87.9 <97.4>
抗がん剤 ハラヴェン	183	166	90.9 <100.6>
米国 (百万米ドル)	175 (146)	158 (146)	90.1 <99.8>
抗がん剤 レンビマ	88	151	171.7 <190.4>
米国 (百万米ドル)	88 (73)	150 (138)	170.6 <189.1>
抗てんかん剤 Banzel	132	138	104.7 <116.1>
米国 (百万米ドル)	131 (109)	137 (126)	104.7 <116.0>
プロトンポンプ阻害剤 アシフェックス	83	72	86.4 <95.8>
米国 (百万米ドル)	83 (69)	72 (66)	86.4 <95.8>
抗てんかん剤 Fycompa	38	53	136.8 <151.7>
米国 (百万米ドル)	37 (31)	50 (46)	137.2 <152.1>
肥満症治療剤 Belvq	44	37	84.0 <93.1>
米国 (百万米ドル)	44 (37)	37 (34)	84.0 <93.1>

- ・前期比の< >内は為替の影響を除いた数値を示しています。
- ・アメリカスでは、米国のみがアシフェックス、Belvqの自社販売国になります。

## 3) 中国 医薬品事業

(億円、%)

	2015年度	2016年度	
	通期	通期	前期比
売上収益	493	493	100.0 <117.0>
セグメント利益	126	137	109.1 <140.5>
<b>中国 主力品売上収益</b>			
末梢性神経障害治療剤 メチコパール (百万人民元)	187 (993)	180 (1,116)	96.0 <112.4>
肝臓疾患用剤・アレルギー用薬 強力ネオミノファーゲンシー/グリチロン錠 (百万人民元)	93 (492)	84 (523)	90.8 <106.3>
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト (百万人民元)	56 (295)	62 (383)	111.1 <130.0>
プロトンポンプ阻害剤 パリエット (百万人民元)	33 (173)	39 (244)	120.2 <140.7>

・前期比の<>内は為替の影響を除いた数値を示しています。

## 4) アジア 医薬品事業 (韓国、台湾、香港、インド、アセアン等)

(億円、%)

	2015年度	2016年度	
	通期	通期	前期比
売上収益	340	347	102.2 <113.0>
セグメント利益	83	93	112.6 <127.0>
<b>アジア 主力品売上収益</b>			
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	100	98	98.1 <108.4>
ヒト型抗ヒトTNF $\alpha$ モノクローナル抗体 ヒュミラ	90	96	107.1 <117.8>
プロトンポンプ阻害剤 パリエット	35	36	103.1 <114.2>
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	31	29	92.5 <103.8>
抗がん剤 ハラヴェン	19	20	104.2 <116.2>
抗てんかん剤 Fycompa	1	4	384.5 <424.2>
抗がん剤 レンピマ	0	3	3217.1 <3556.6>

・前期比の<>内は為替の影響を除いた数値を示しています。

5) EMEA 医薬品事業（欧州、中東、アフリカ、オセアニア）

（億円、％）

	2015年度 通期	2016年度	
		通期	前期比
売上収益	413	378	91.5 <103.7>
セグメント利益	102	125	122.2 <130.8>
<b>EMEA 主力品売上収益</b>			
抗がん剤 ハラヴェン	132	109	83.1 <94.7>
抗てんかん剤 ゾネグラン	76	52	67.7 <77.5>
抗てんかん剤 Fycompa	36	42	117.3 <133.2>
抗てんかん剤 Zebinix	38	36	93.8 <106.0>
抗がん剤 レンビマ/Kispalyx	11	33	296.6 <336.5>
抗てんかん剤 イノベロン	22	19	87.8 <101.3>

・前期比の<>内は為替の影響を除いた数値を示しています。



## 4. 主力品売上収益

### 1) ニューロロジー領域製品

(億円、%)

	2015年度	2016年度	
	通期	通期	前期比
ニューロロジー領域製品計	1,797	1,619	90.1 <96.0>
アリセプト（アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤）	633	492	77.6 <81.6>
日本	405	295	73.0
中国	56	62	111.1 <130.0>
アジア	100	98	98.1 <108.4>
メチコパール（末梢性神経障害治療剤）	435	400	91.9 <99.7>
日本	208	182	87.2
中国	187	180	96.0 <112.4>
アジア	31	29	92.5 <103.8>
リリカ（疼痛治療剤）・日本	247	243	98.2
イノベロン/Banzei（抗てんかん剤）	158	162	102.5 <113.9>
アメリカス	132	138	104.7 <116.1>
EMEA	22	19	87.8 <101.3>
フィコンパ/Fycompa（抗てんかん剤）	76	103	136.7 <152.4>
日本	—	5	—
アメリカス	38	53	136.8 <151.7>
アジア	1	4	384.5 <424.2>
EMEA	36	42	117.3 <133.2>
ルネスタ（不眠症治療剤）・日本	60	80	134.0
ソネグラン（抗てんかん剤）	92	56	61.1 <69.8>
EMEA	76	52	67.7 <77.5>
Belviaq（肥満症治療剤）・米国	44	37	84.0 <93.1>
Zebinix（抗てんかん剤）・EMEA	38	36	93.8 <106.0>
その他	13	10	78.1 <78.1>

- ・前期比の<>内は為替の影響を除いた数値を示しています。
- ・アリセプトのレビー小体型認知症の適応は日本とフィリピンのみです。
- ・リリカの売上収益は共同販促収入です。

2) オンコロジー領域製品

(億円、%)

	2015年度 通期	2016年度	
		通期	前期比
オンコロジー領域製品計	1,184	1,183	99.9 <109.8>
Aloxi (制吐剤)・アメリカス	547	481	87.9 <97.4>
ハラヴェン (抗がん剤)	402	373	92.9 <101.7>
日本	68	78	114.2
アメリカス	183	166	90.9 <100.6>
アジア	19	20	104.2 <116.2>
EMEA	132	109	83.1 <94.7>
レンピマ/Kisplyx (抗がん剤)	115	215	187.0 <205.4>
日本	15	27	175.5
アメリカス	88	151	171.7 <190.4>
アジア	0	3	3217.1 <3556.6>
EMEA	11	33	296.6 <336.5>
トレアキシシ/シンベンダ (抗がん剤)	41	45	108.5 <109.2>
その他	79	70	87.9 <98.3>

・前期比の< >内は為替の影響を除いた数値を示しています。

・当連結会計年度より、がん関連領域をオンコロジー領域に名称変更し、領域に含まれる製品を見直しています。  
この変更に合わせて、前連結会計年度の数値を組替えて表示しています。

## 5. セグメント別売上収益見通し（2017年度）

（億円、%）

	2016年度	2017年度	
	通期	通期見通し	前期比
<b>日本</b>	2,911	2,930	100.7
<b>医療用医薬品</b>	2,440	2,430	99.6
ヒト型抗ヒトTNF $\alpha$ モノクローナル抗体 ヒュミラ	377	435	115.5
アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤 アリセプト	295	220	74.5
プロトンポンプ阻害剤 パリエット*	212	185	87.4
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	182	170	93.6
不眠症治療剤 ルネスタ	80	105	131.0
抗がん剤 ハラヴェン	78	85	109.5
成分栄養剤 エレンタール*	66	65	98.2
抗がん剤 トレアキシシ	42	65	155.3
経口抗凝固剤 ワーファリン	68	60	88.3
分岐鎖アミノ酸製剤 リーバクト*	67	60	90.2
<b>ジェネリック医薬品</b>	280	300	107.0
<b>一般用医薬品等</b>	190	195	102.4
ビタミンB2主剤「チョコラBBプラス」等 チョコラBBグループ	124	125	101.0
<b>アメリカス</b>	1,172	1,320	112.6
<b>米国</b>	1,157	1,300	112.4
<b>中国</b>	493	540	109.6
<b>アジア</b>	347	380	109.4
<b>EMEA</b>	378	445	117.6
<b>その他</b>	90	140	156.1
<b>連結売上収益</b>	<b>5,391</b>	<b>5,755</b>	<b>106.8</b>
<b>主要品目グローバル売上収益</b>			
ハラヴェン	373	430	115.2
日本	78	85	109.5
アメリカス	166	185	111.3
アジア	20	25	125.1
EMEA	109	135	123.3
レンピマ/Kispalyx	215	330	153.8
日本	27	30	110.5
アメリカス	151	235	155.5
アジア	3	5	162.1
EMEA	33	60	180.7
フィコンパ/Fycompa	103	205	198.6
日本	5	40	864.8
アメリカス	53	95	180.8
アジア	4	5	138.1
EMEA	42	65	153.1
Belviq	37	50	134.6
アメリカス	37	50	134.6
アリセプト	492	415	84.4
パリエット/アシフェックス	364	320	88.0

・通期見通しには当社が2017年5月3日に発表した、米国における制吐剤「Aloxi」の特許侵害訴訟に関するリスクによる影響は含めていません。

・パリエットには、ヘリコバクター・ピロリ除菌用3剤組み合わせバック製剤「ラベキュアバック400/800」および「ラベファインバック」の売上収益を含めています。

\* EAファーマの取り扱い製品です。

## 6. 連結包括利益計算書

(億円、%)

	2015年度	2016年度		
	通期	通期	前期比	増減額
当期利益	550	422	76.7	△ 128
その他の包括利益				
損益に振り替えられることのない項目				
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	16	△ 6	—	△ 22
確定給付制度に係る再測定	△ 68	40	—	108
小計	△ 52	34	—	86
損益にその後に振り替えられる可能性のある項目				
在外営業活動体の換算差額	△ 327	△ 93	—	233
キャッシュ・フロー・ハッジ	△ 7	5	—	12
小計	△ 334	△ 88	—	246
その他の包括利益合計	△ 386	△ 54	—	332
当期包括利益	165	368	223.9	204
当期包括利益の帰属				
親会社所有者	165	340	206.1	175
非支配持分	△ 0	29	—	29

## 7. 連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	2015年度		2016年度	
	通期		通期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税引前当期利益	505		577	72
減価償却費及び償却費	341		265	△ 76
減損損失	21		4	△ 18
運転資本の増減額（△は増加）	359		15	△ 344
利息及び配当金の受取額	19		17	△ 2
利息の支払額	△ 39		△ 26	13
法人所得税の支払額	△ 100		△ 125	△ 25
法人所得税の還付額	21		109	88
その他	△ 170		△ 77	93
営業活動によるキャッシュ・フロー	956		759	△ 198
投資活動によるキャッシュ・フロー				
① 有形固定資産の取得による支出	△ 68		△ 78	△ 10
② 有形固定資産の売却による収入	140		3	△ 137
③ 無形資産の取得による支出	△ 333		△ 122	211
④ 子会社の取得による支出	△ 90		—	90
⑤ 子会社の取得による収入	—		193	193
⑥ 子会社の売却による収入	205		65	△ 141
<資本的支出等（キャッシュベース）> ①+②+③+④+⑤+⑥	△ 145		61	206
金融資産の取得による支出	△ 165		△ 128	38
金融資産の売却・償還による収入	167		125	△ 42
3カ月超預金の預入による支出	△ 270		△ 729	△ 460
3カ月超預金の払戻による収入	349		391	42
その他	△ 3		△ 6	△ 3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 67		△ 286	△ 219
財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金の増減額（△は減少）	△ 2		—	2
長期借入れによる収入	399		100	△ 299
長期借入金の返済による支出	△ 400		—	400
社債の償還による支出	△ 300		—	300
配当金の支払額	△ 429		△ 429	△ 0
その他	2		△ 25	△ 28
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 729		△ 354	375
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 100		△ 44	56
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	60		74	15
現金及び現金同等物の期首残高	1,733		1,793	60
現金及び現金同等物の期末残高	1,793		1,868	74

フリー・キャッシュ・フロー	811	820	8
---------------	-----	-----	---

・フリー・キャッシュ・フロー＝（営業活動によるキャッシュ・フロー）－（資本的支出等（キャッシュベース））

## &lt;コメント&gt;

- 投資活動によるキャッシュ・フロー
  - ・EAファーマ株式会社の連結子会社化に伴い、子会社の取得による収入が発生
  - ・サンノーバ株式会社の譲渡に伴い、子会社の売却による収入が発生
- 財務活動によるキャッシュ・フロー
  - ・長期借入れによる収入が発生

## 8. 資本的支出及び減価償却費の状況

	2015年度 通期	2016年度		2017年度 通期見通し
		通期	増減額	
資本的支出額（キャッシュベース）	401	200	△ 201	220
有形固定資産	68	78	10	120
無形資産	333	122	△ 211	100
減価償却費及び償却費	341	265	△ 76	260
有形固定資産	131	110	△ 21	110
無形資産	210	155	△ 55	150

## 9. 連結財政状態計算書

## &lt;資産の部&gt;

(億円、%)

	2015年度		2016年度			
	3月末	構成比	3月末	構成比	前期末比	増減額
資産						
非流動資産						
有形固定資産	1,046	10.7	1,036	10.0	99.1	△ 10
のれん	1,749	18.0	1,740	16.9	99.5	△ 9
無形資産	1,042	10.7	1,125	10.9	108.0	83
その他の金融資産	438	4.5	545	5.3	124.3	106
その他	71	0.7	138	1.3	192.9	66
繰延税金資産	916	9.4	883	8.6	96.4	△ 33
非流動資産合計	5,262	54.0	5,466	53.0	103.9	204
流動資産						
棚卸資産	737	7.6	829	8.0	112.5	92
営業債権及びその他の債権	1,477	15.2	1,545	15.0	104.6	68
その他の金融資産	195	2.0	429	4.2	219.4	233
その他	203	2.1	171	1.7	84.3	△ 32
現金及び現金同等物	1,768	18.2	1,868	18.1	105.6	99
小計	4,380	45.0	4,842	47.0	110.5	461
売却目的で保有する資産	98	1.0	—	—	—	△ 98
流動資産合計	4,478	46.0	4,842	47.0	108.1	364
資産合計	9,740	100.0	10,308	100.0	105.8	568

## &lt;コメント&gt;

## ■資産の部

- ・EAファーマ株式会社の連結子会社化に伴う増加
- ・サンノーバ株式会社の譲渡に伴い、売却目的で保有する資産が減少

## &lt;資本及び負債の部&gt;

(億円、%)

	2015年度		2016年度			
	3月末	構成比	3月末	構成比	前期末比	増減額
資本						
親会社の所有者に帰属する持分						
資本金	450	4.6	450	4.4	100.0	—
資本剰余金	582	6.0	777	7.5	133.4	194
自己株式	△ 362	△ 3.7	△ 359	△ 3.5	99.1	3
利益剰余金	3,950	40.6	3,950	38.3	100.0	0
その他の資本の構成要素	1,117	11.5	1,029	10.0	92.1	△ 88
親会社の所有者に帰属する持分合計	5,737	58.9	5,846	56.7	101.9	110
非支配持分	32	0.3	180	1.7	567.0	148
資本合計	5,768	59.2	6,026	58.5	104.5	258
負債						
非流動負債						
借入金	2,036	20.9	1,635	15.9	80.3	△ 401
その他の金融負債	32	0.3	25	0.2	78.1	△ 7
退職後給付に係る負債	132	1.4	138	1.3	104.4	6
引当金	12	0.1	12	0.1	102.3	0
その他	210	2.2	230	2.2	109.9	21
繰延税金負債	3	0.0	4	0.0	156.4	2
非流動負債合計	2,424	24.9	2,045	19.8	84.3	△ 380
流動負債						
借入金	—	—	500	4.9	—	500
営業債務及びその他の債務	564	5.8	707	6.9	125.4	144
その他の金融負債	42	0.4	40	0.4	94.3	△ 2
未払法人所得税	54	0.6	59	0.6	108.5	5
引当金	111	1.1	146	1.4	131.5	35
その他	747	7.7	784	7.6	104.9	37
小計	1,519	15.6	2,237	21.7	147.2	718
売却目的で保有する資産に直接関連する負債	28	0.3	—	—	—	△ 28
流動負債合計	1,547	15.9	2,237	21.7	144.6	690
負債合計	3,972	40.8	4,282	41.5	107.8	310
資本及び負債合計	9,740	100.0	10,308	100.0	105.8	568

## &lt;コメント&gt;

## ■資本の部

- ・EAファーマ株式会社の連結子会社化に伴い、資本剰余金および非支配持分が増加

## ■負債の部

- ・EAファーマ株式会社の連結子会社化に伴う負債の増加
- ・サンノーバ株式会社の譲渡に伴い、売却目的で保有する資産に直接関連する負債が減少

## 10. 連結四半期業績の推移

## 1) 損益計算書項目

(億円)

	2015年度				2016年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上収益	1,392	1,363	1,509	1,215	1,369	1,330	1,393	1,299
売上原価	494	501	498	452	498	484	497	480
売上総利益	898	862	1,012	763	871	846	897	818
販売費及び一般管理費	499	465	495	469	437	433	459	468
販売費	160	155	148	149	125	136	148	150
人件費	223	198	202	198	198	192	196	198
管理費他	116	112	146	122	114	105	116	120
研究開発費	327	301	285	309	262	288	246	330
その他の収益	4	15	83	74	103	8	12	12
その他の費用	0	6	8	26	17	6	14	19
営業利益	76	105	306	33	258	128	190	14
金融収益	7	3	6	4	7	2	6	3
金融費用	8	9	10	7	7	7	7	11
税引前四半期利益	74	99	302	30	258	123	189	6
法人所得税	19	43	29	△137	49	36	76	△7
四半期利益	55	56	273	166	209	87	114	13
四半期利益の帰属								
親会社所有者	54	56	273	166	197	82	105	9
非支配持分	1	0	△0	0	12	5	8	4
四半期包括利益	202	△99	305	△243	△230	20	667	△89
E P S (円)	19.1	19.5	95.5	58.1	69.0	28.6	36.7	3.3

・当連結会計年度より、販売費及び一般管理費の内訳を組替えました。この変更に合わせて、前連結会計年度の数値を組替えて表示しています。

・EPS：基本的1株当たり四半期利益

## 2) キャッシュ・フロー計算書項目

(億円)

	2015年度				2016年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	211	227	177	341	△48	316	158	333
投資活動によるキャッシュ・フロー	△174	40	25	43	234	△103	△245	△171
財務活動によるキャッシュ・フロー	△425	△0	△96	△209	△147	△1	△207	1
現金及び現金同等物の期末残高	1,387	1,601	1,700	1,793	1,727	1,908	1,724	1,868
フリー・キャッシュ・フロー	△103	336	196	382	187	286	121	226

・フリー・キャッシュ・フロー＝（営業活動によるキャッシュ・フロー）－（資本的支出等（キャッシュベース））



### 3) 資本的支出及び減価償却費の状況

(億円)

	2015年度				2016年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
資本的支出額（キャッシュベース）	316	21	16	49	26	30	37	107
有形固定資産	15	14	8	32	14	11	16	37
無形資産	301	7	8	17	12	19	21	70
減価償却費及び償却費	103	101	70	66	80	59	61	65
有形固定資産	35	33	32	31	29	27	27	28
無形資産	68	69	38	35	51	32	35	37

### 4) 財政状態計算書項目

(億円)

	2015年度				2016年度			
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末
資産	10,017	9,871	10,182	9,740	9,631	9,652	10,404	10,308
資本	5,997	5,900	6,006	5,768	5,627	5,649	6,111	6,026
親会社の所有者に帰属する持分	5,963	5,867	5,973	5,737	5,459	5,477	5,935	5,846
負債	4,020	3,971	4,176	3,972	4,004	4,003	4,293	4,282
借入金	2,170	2,163	2,270	2,036	2,107	2,101	2,148	2,135
親会社所有者帰属持分比率 (%)	59.5	59.4	58.7	58.9	56.7	56.7	57.0	56.7
負債比率 (Net DER/倍)	0.11	0.06	0.06	0.01	0.04	△0.01	△0.01	△0.05

・負債比率 (Net DER) = (有利子負債 (社債及び借入金) - 現金及び現金同等物 - 3カ月超預金等) ÷ 親会社の所有者に帰属する持分

5) 主力品売上収益の四半期推移

(1) ニューロロジー領域製品

(億円)

	2015年度				2016年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
ニューロロジー領域製品計	468	456	495	379	406	394	423	396
アリセプト (アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤)	180	160	176	117	132	119	122	119
日本	114	101	120	70	89	75	77	54
中国	14	14	14	15	14	15	16	17
アジア	26	25	26	23	24	24	25	25
メチコバル (末梢性神経障害治療剤)	118	112	118	88	98	103	108	90
日本	55	50	59	43	50	46	48	38
中国	51	52	48	36	40	48	50	42
アジア	9	9	7	6	7	7	8	7
リリカ (疼痛治療剤)・日本	57	61	69	60	61	58	65	59
イノベロン/Banzel (抗てんかん剤)	34	40	45	40	37	38	41	46
アメリカス	27	33	38	34	31	33	35	40
EMEA	5	5	6	5	5	5	5	5
フィコンパ/Fycompa (抗てんかん剤)	15	18	22	22	25	23	27	29
日本	—	—	—	—	1	1	1	1
アメリカス	7	9	11	11	12	11	14	16
アジア	0	0	0	1	1	1	1	1
EMEA	7	8	10	10	11	10	10	11
ルネスタ (不眠症治療剤)・日本	14	15	17	14	19	19	23	20
ソネグラン (抗てんかん剤)	24	26	25	16	16	14	13	13
EMEA	20	20	21	15	15	13	12	12
Belvia (肥満症治療剤)・米国	15	11	10	9	10	7	11	9
Zebinix (抗てんかん剤)・EMEA	9	10	9	11	7	10	9	10
その他	3	3	4	3	3	3	3	2

・アリセプトのレビー小体型認知症の適応は日本とフィリピンのみです。

・リリカの売上収益は共同販促収入です。

(2) オンコロジー領域製品

(億円)

	2015年度				2016年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
オンコロジー領域製品計	279	295	312	298	285	294	295	309
Aloxi (制吐剤)・アメリカス	135	141	142	129	120	121	114	126
ハラヴェン (抗がん剤)	101	98	102	101	94	93	97	90
日本	18	16	18	15	20	20	20	18
アメリカス	44	46	44	50	42	41	42	41
アジア	4	5	5	5	5	5	5	5
EMEA	34	32	34	32	27	26	31	25
レンピマ/Kisplyx (抗がん剤)	13	28	36	38	44	52	55	64
日本	2	4	5	5	7	7	7	6
アメリカス	11	22	27	29	32	37	38	44
アジア	—	—	0	△0	0	1	1	1
EMEA	0	2	4	5	4	8	9	12
トレアキシシ/シンペンダ (抗がん剤)	11	10	12	9	11	11	11	12
その他	20	18	20	21	16	18	18	18

## 11. 主な連結業績項目の推移（国際会計基準：IFRS）

	(億円)				
	2012年度 通期	2013年度 通期	2014年度 通期	2015年度 通期	2016年度 通期
<b>&lt;損益計算書項目&gt;</b>					
売上収益	5,726	5,995	5,485	5,479	5,391
売上原価	1,763	1,947	1,936	1,945	1,959
販売費及び一般管理費	1,971	2,033	1,945	1,928	1,797
研究開発費	1,193	1,363	1,319	1,223	1,125
その他の収益	13	41	10	177	136
その他の費用	8	28	11	41	56
営業利益	804	664	283	519	591
当期利益	519	385	435	550	422
当期包括利益	1,019	845	1,142	165	368
<b>&lt;キャッシュ・フロー計算書項目&gt;</b>					
営業活動によるキャッシュ・フロー	743	913	760	956	759
投資活動によるキャッシュ・フロー	209	209	△188	△67	△286
財務活動によるキャッシュ・フロー	△821	△1,151	△597	△729	△354
フリー・キャッシュ・フロー	548	794	604	811	820
<b>&lt;財政状態計算書項目&gt;</b>					
資産	10,087	9,738	10,538	9,740	10,308
資本	4,879	5,294	6,021	5,768	6,026
資本金	450	450	450	450	450
親会社の所有者に帰属する持分	4,841	5,263	5,987	5,737	5,846
<b>&lt;資本的支出及び減価償却費&gt;</b>					
資本的支出額（キャッシュベース）	206	274	184	401	200
減価償却費及び償却費	436	399	389	341	265
<b>&lt;経営指標&gt;</b>					
配当金総額（億円）	428	428	428	429	429
DOE（親会社所有者帰属持分配当率／％）	9.4	8.5	7.6	7.3	7.4
配当性向（％）	82.7	111.8	99.0	78.0	109.0
売上収益当期利益率（％）	9.1	6.4	7.9	10.0	7.8
ROE（親会社所有者帰属持分配当率／％）	11.4	7.6	7.7	9.4	6.8
ROA（総資産当期利益率／％）	5.1	3.9	4.3	5.4	4.2
総資産回転率（回）	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5
親会社所有者帰属持分比率（％）	48.0	54.0	56.8	58.9	56.7
負債比率（Net DER／倍）	0.26	0.14	0.06	0.01	△0.05
レバレッジ（倍）	2.1	1.9	1.8	1.7	1.8
基本的EPS（1株当たり当期利益／円）	181.3	134.1	151.6	192.2	137.6
希薄化後EPS（1株当たり当期利益／円）	181.2	134.0	151.4	191.8	137.4
DPS（1株当たり配当金／円）	150.0	150.0	150.0	150.0	150.0
PBR（株価資本倍率／倍）	2.5	2.2	4.1	3.4	2.8
連結子会社数	48	47	48	46	45

- ・2013年度からの国際会計基準（IFRS）適用に伴い比較可能な5期分を記載しています。
- ・フリー・キャッシュ・フロー＝（営業活動によるキャッシュ・フロー）－（資本的支出等（キャッシュベース））
- ・負債比率（Net DER）＝（有利子負債（社債及び借入金）－現金及び現金同等物－3カ月超預金等）÷親会社の所有者に帰属する持分
- ・レバレッジ＝資産合計÷親会社の所有者に帰属する持分

<参考数値 主な連結業績項目の推移（日本基準）>

	(億円)						
	2007年度 通期	2008年度 通期	2009年度 通期	2010年度 通期	2011年度 通期	2012年度 通期	2013年度 通期
<b>&lt;損益計算書項目&gt;</b>							
売上高	7,343	7,817	8,032	7,689	6,480	5,737	6,004
売上原価	1,188	1,525	1,607	1,678	1,734	1,741	1,882
研究開発費	2,254	1,561	1,791	1,450	1,251	1,204	1,305
販売費・一般管理費	3,723	3,814	3,769	3,430	2,537	2,087	2,105
営業利益	177	918	864	1,131	957	705	711
経常利益	189	826	797	1,052	900	656	649
当期純利益（△損失）	△170	477	403	674	585	483	330
キャッシュ・インカム	1,069	1,190	1,264	1,200	1,077	1,007	836
<b>&lt;キャッシュ・フロー計算書項目&gt;</b>							
営業活動によるキャッシュ・フロー	732	1,050	1,079	1,232	906	732	857
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,764	△550	△698	△588	△26	217	262
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,754	△310	△492	△680	△780	△818	△1,148
フリー・キャッシュ・フロー	△4,159	593	529	1,003	714	545	664
<b>&lt;貸借対照表項目&gt;</b>							
資本金	450	450	450	450	450	450	450
総資産	11,239	11,482	11,019	10,463	10,047	9,902	9,455
自己資本	4,489	4,280	4,159	4,042	4,168	4,694	5,068
<b>&lt;資本的支出及び減価償却費&gt;</b>							
資本的支出額（発生ベース）	4,340	473	287	237	207	205	256
減価償却費	346	491	489	435	417	433	391
<b>&lt;経営指標&gt;</b>							
配当金総額（億円）	370	399	427	427	427	428	428
DOE（純資産配当率／％）	7.4	9.1	10.1	10.4	10.4	9.6	8.8
配当性向（％）	—	83.7	105.9	63.4	73.1	88.6	129.8
売上高当期純利益率（％）	△2.3	6.1	5.0	8.8	9.0	8.4	5.5
ROE（自己資本当期純利益率／％）	△3.4	10.9	9.6	16.4	14.3	10.9	6.8
ROA（総資産利益率／％）	△1.8	4.2	3.6	6.3	5.7	4.8	3.4
総資産回転率（回）	0.8	0.7	0.7	0.7	0.6	0.6	0.6
自己資本比率（％）	39.9	37.3	37.7	38.6	41.5	47.4	53.6
負債比率（Net DER／倍）	0.64	0.63	0.62	0.49	0.38	0.27	0.14
レバレッジ（倍）	2.5	2.7	2.6	2.6	2.4	2.1	1.9
EPS（1株当たり当期純利益（△損失）／円）	△59.8	167.3	141.6	236.5	205.3	169.4	115.6
潜在株式調整後EPS（1株当たり当期純利益／円）	—	167.3	141.6	236.5	205.3	169.3	115.5
1株当たりキャッシュ・インカム（円）	375.8	417.8	443.7	421.3	377.8	353.5	293.1
DPS（1株当たり配当金／円）	130.0	140.0	150.0	150.0	150.0	150.0	150.0
PBR（株価純資産倍率／倍）	2.2	1.9	2.3	2.1	2.2	2.6	2.3
市場買付けによる自己株取得株数（万株）	—	—	—	—	—	—	—
市場買付けによる自己株取得金額（億円）	—	—	—	—	—	—	—
連結子会社数	63	50	49	50	48	48	47

- ・売上原価には返品調整引当金繰入（戻入）額を含めて表示しております。
- ・フリー・キャッシュ・フロー＝（営業活動によるキャッシュ・フロー）－（資本的支出等（キャッシュベース））
- ・2009年度以降の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、新しい基準で計算しております。
- ・減価償却費には無形固定資産に対する償却費を含めて表示しております。なお、2008年度より定義を一部変更しております。
- ・キャッシュ・インカム＝当期純利益＋有形・無形固定資産減価償却費＋インプロセス研究開発費＋のれん償却額＋減損損失（投資有価証券評価損含む）
- ・キャッシュ・インカムおよび1株当たりキャッシュ・インカムに関しては定義の一部変更に伴い過去実績を組替表示しております。
- ・1株当たりキャッシュ・インカム＝キャッシュ・インカム÷期中平均株式数（自己株式控除後）
- ・負債比率（Net DER）＝（有利子負債（借入金＋社債）－現金－有価証券）÷自己資本
- ・レバレッジ＝総資産÷自己資本

## 12. 株式の状況

## 1) 発行株式数・株主数の状況

2017年3月31日現在

発行可能株式総数	発行済株式の総数	自己株式数	株主数	株主1人当たりの平均持株数
1,100,000,000株	296,566,949株	10,399,676株	62,335名	4,758株

・発行済株式の総数は自己株式数を含めて表示しています。

## 2) 大株主の状況

2017年3月31日現在

株主名	持株数	持株比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	31,481千株	10.62%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	25,829千株	8.71%
JP MORGAN CHASE BANK 385147	15,038千株	5.07%
日本生命保険相互会社	12,281千株	4.14%
株式会社埼玉りそな銀行	7,300千株	2.46%
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	5,437千株	1.83%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口5）	4,736千株	1.60%
公益財団法人内藤記念科学振興財団	4,207千株	1.42%
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	3,936千株	1.33%
資産管理サービス信託銀行株式会社（証券投資信託口）	3,796千株	1.28%

- ・株式数は千株未満を切捨てて表示しています。
- ・持株比率は自己株式を含んだ発行済株式の総数に対する割合です。
- ・自己株式は10,399千株（3.51%）であり、議決権がないため表中に記載していません。
- ・当事業年度末までに以下の大量保有報告書（変更報告書）が提出されていますが、当事業年度末の株主名簿で確認できない場合、または保有株式数が上位10位に該当しない場合は、表中に記載していません。なお、（ ）内の保有割合は、自己株式を含んだ発行済株式の総数に対する割合です。
  - ① ブラックロック・ジャパン株式会社他、全7社の共同保有として、15,262千株（5.15%）を2014年11月28日現在で保有  
（2014年12月4日付大量保有報告書）
  - ② 株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ他、全4社の共同保有として、16,113千株（5.43%）を2015年7月13日現在で保有  
（2015年7月21日付変更報告書）
  - ③ ウェリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー他、全2社の共同保有として、27,087千株（9.13%）を2015年7月31日現在で保有  
（2015年8月7日付変更報告書）
  - ④ 三井住友信託銀行株式会社他、全3社の共同保有として、14,926千株（5.03%）を2016年4月15日現在で保有  
（2016年4月21日付大量保有報告書）
  - ⑤ 株式会社みずほ銀行他、全2社の共同保有として、18,900千株（6.37%）を2016年10月14日現在で保有  
（2016年10月21日付大量保有報告書）
  - ⑥ ハンガード・ヘルスケア・ファンドの保有として、14,838千株（5.00%）を2016年11月24日現在で保有  
（2016年12月15日付大量保有報告書）

## 3) 所有者別株主数推移

	2016年		2017年		
	3月末（名）	構成比（%）	3月末（名）	構成比（%）	増減（名）
金融機関	154	0.3	160	0.3	6
金融商品取引業者（証券会社）	58	0.1	63	0.1	5
その他の法人	858	1.4	820	1.3	△38
外国法人等	639	1.1	662	1.1	23
個人・その他	58,286	97.1	60,629	97.3	2,343
自己株式	1	0.0	1	0.0	—
合計	59,996	100.0	62,335	100.0	2,339

## 4) 所有者別所有株式数推移

	2016年		2017年		
	3月末	構成比（%）	3月末	構成比（%）	増減
金融機関	126,219千株	42.6	130,408千株	44.0	4,188千株
金融商品取引業者（証券会社）	9,239千株	3.1	8,813千株	3.0	△426千株
その他の法人	21,153千株	7.1	20,855千株	7.0	△298千株
外国法人等	85,696千株	28.9	81,504千株	27.5	△4,192千株
個人・その他	43,701千株	14.7	44,585千株	15.0	884千株
自己株式	10,555千株	3.6	10,399千株	3.5	△156千株
合計	296,566千株	100.0	296,566千株	100.0	—

・株式数は千株未満を切捨てて表示しています。

## 5) 所有株数別株主数推移

	2016年		2017年		増減(名)
	3月末(名)	構成比(%)	3月末(名)	構成比(%)	
100万株以上	51	0.1	50	0.1	△1
10万~100万株未満	156	0.3	142	0.2	△14
1万~10万株未満	733	1.2	749	1.2	16
1,000~1万株未満	10,734	17.9	10,868	17.4	134
100~1,000株未満	43,805	73.0	46,621	74.8	2,816
100株未満	4,517	7.5	3,905	6.3	△612
合計	59,996	100.0	62,335	100.0	2,339

## 6) 所有株数別分布推移

	2016年		2017年		増減
	3月末	構成比(%)	3月末	構成比(%)	
100万株以上	195,575千株	65.9	198,211千株	66.8	2,636千株
10万~100万株未満	49,573千株	16.7	44,524千株	15.0	△5,049千株
1万~10万株未満	18,721千株	6.3	20,125千株	6.8	1,404千株
1,000~1万株未満	22,588千株	7.6	22,970千株	7.7	381千株
100~1,000株未満	9,951千株	3.4	10,600千株	3.6	649千株
100株未満	157千株	0.1	134千株	0.0	△22千株
合計	296,566千株	100.0	296,566千株	100.0	—

・株式数は千株未満を切捨てて表示しています。

## 13. 従業員数

## 1) 連結従業員数

	(人)			
	2014年 3月末	2015年 3月末	2016年 3月末	2017年 3月末
連結期末従業員数	10,419	10,183	9,877	10,452
日本	5,200	4,712	4,523	5,009
アメリカス(北米、中南米)	1,768	1,745	1,316	1,320
中国	1,559	1,607	1,875	1,909
アジア	1,081	1,226	1,250	1,231
EMEA(欧州、中東、アフリカ、オセアニア)	811	893	913	983

## 2) 個別従業員数

	(人)			
	2014年 3月末	2015年 3月末	2016年 3月末	2017年 3月末
個別期末従業員数	4,003	3,514	3,504	3,246
生産	642	463	459	459
研究	981	885	871	878
販売・管理	2,380	2,166	2,174	1,909

・期末従業員数は、就業人員数(当社から社外への出向者を除き、社外から当社への出向者を含む)を表示しています。

## 14. 主要開発品

### ＜自社開発品一覧＞

品目／開発コード	効能追加等**	開発ステージ***	領域
<b>承認取得品</b>			
○ ハラヴェン（脂肪肉腫）	効能	（欧）承認	がん
○ フィコンバ（経口懸濁液）	剤形	（米欧）承認	神経
○ レンビマ/Kispalyx（腎細胞がん・セカンドライン）	効能	（米欧ア）承認	がん
○ Belvia（1日1回製剤）	剤形	（米）承認	神経
○ ヒュミラ（非感染性ぶどう膜炎）	効能	（日）承認	その他
<b>申請中・申請準備中開発品</b>			
アリセプト（高度アルツハイマー型認知症）	効能	（中）申請	神経
○ ハラヴェン（乳がん）		（中）申請	がん
○ AJG511（潰瘍性大腸炎）*		（日）申請	消化器
○ バリエット（PPI 抵抗性逆流性食道炎に対する維持療法）	用法	（日）申請	消化器
○ フィコンバ（部分てんかん単剤療法）	効能	（米）申請	神経
◎ AJG533（慢性便秘症）*		（日）申請	消化器
<b>臨床試験中開発品</b>			
○ E2006（不眠障害）		（日米欧）PⅢ	神経
○ E2609（早期アルツハイマー病）		（日米欧）PⅢ	神経
◎ レンビマ（甲状腺がん）		（中）PⅢ	がん
AJM300（潰瘍性大腸炎）*		（日）PⅢ	消化器
AJG555（慢性便秘症）*		（日）PⅢ	消化器
リーバクト（低アルブミン血症）		（中）PⅢ	消化器
○ フィコンバ（レノックス・ガストー症候群）	効能	（日米欧）PⅢ	神経
○ フィコンバ（てんかん小児適応）	効能	（日米欧）PⅢ	神経
◎ フィコンバ（部分てんかん単剤療法）	効能	（日）PⅢ	神経
レンビマ（肝細胞がん）	効能	（日米欧中ア）PⅢ	がん
○ レンビマ（腎細胞がん・ファーストライン）	効能	（米欧）PⅢ	がん
BAN2401（アルツハイマー型認知症）		（日米欧）PⅡ	神経
○ E2006（アルツハイマー型認知症に伴う不規則睡眠覚醒リズム障害）		（日米）PⅡ	神経
MORAb-003（プラチナ感受性卵巣がん）		（日米欧）PⅡ	がん
MORAb-004（メラノーマ）		（米欧）PⅡ	がん
MORAb-009（中皮腫）		（米欧）PⅡ	がん
E7777（末梢性T細胞リンパ腫、皮膚T細胞性リンパ腫）		（日）PⅡ	がん
ハラヴェン（乳がん・抗PD-1抗体ベムプロリスマブとの併用療法）		（米）PⅠ/Ⅱ	がん
◎ レンビマ（固形がん・抗PD-1抗体ベムプロリスマブとの併用療法）		（米）PⅠ/Ⅱ（日）PⅠ	がん
○ E6007（潰瘍性大腸炎）*		（日）PⅡ	消化器
○ E6011（関節リウマチ）		（日）PⅡ	その他
○ E6011（原発性胆汁性胆管炎）*		（日）PⅡ	その他
アリセプト（ダウン症候群の退行様症状）	効能	（日）PⅡ	神経
ハラヴェン（膀胱がん）	効能	（米欧）PⅠ/Ⅱ	がん
レンビマ（非小細胞肺癌 RET 転座）	効能	（日米欧ア）PⅡ	がん
レンビマ（胆道がん）	効能	（日）PⅡ	がん
○ ハラヴェン（乳がん・PEGPH20との併用療法）		（米）PⅠ/Ⅱ	がん
E6011（クローン病）*		（日）PⅠ/Ⅱ	その他
Belvia（肥満症）		（日）PⅠ	神経
E2027（アルツハイマー型認知症）		（米）PⅠ	神経
◎ E2730（てんかん）		（米）PⅠ	神経
E7090（固形がん）		（日）PⅠ	がん
MORAb-066（固形がん）		（米）PⅠ	がん
E7046（固形がん）		（米欧）PⅠ	がん
○ H3B-6527（肝細胞がん）		（米）PⅠ	がん
○ H3B-8800（血液がん）		（米欧）PⅠ	がん
○ E7438（B細胞性非ホジキンリンパ腫）		（日）PⅠ	がん
○ E6130（炎症性腸疾患）*		（日）PⅠ	消化器
MORAb-022（関節リウマチ）		（米）PⅠ	その他
E6071（自己免疫疾患）		（欧）PⅠ	その他
レンビマ（腎細胞がん・セカンドライン）	効能	（日）PⅠ	がん
ハラヴェン（リボソーム製剤）	剤形	（欧）PⅠ	がん

\* EA ファーマ開発品、\*\* 効能：効能効果追加、剤形：剤形追加、用法：用法用量追加

\*\*\* 日：日本、米：米国、欧：欧州、中：中国、ア：日本・中国を除くアジア P = Phase：臨床試験段階

○アリセプトのバッチ製剤について開発主体が帝國製薬に変更となったため、本表から削除しました。

◎MORAb-004について、フェーズⅡ段階にあった大腸がんおよび悪性軟部腫瘍を対象とした適応の開発を中止しました。

○レンビマのフェーズⅡ段階にあった子宮内膜がん（単剤療法）、メラノーマおよび非小細胞肺癌（サードライン・単剤療法）を対象とした適応の開発を中止しました。

◎ハラヴェンについて、フェーズⅢ段階にあった非小細胞肺癌を対象とした適応の開発を中止しました。

◎E7820について、フェーズⅡ段階にあった大腸がんを対象とした適応の開発を中止しました。

◎MORAb-003について、フェーズⅡ段階にあった非小細胞肺癌を対象とした適応の開発を中止しました。

○：2016年4月以降の進捗、◎：2017年1月以降の進捗

## (1) 神経

開発品コード：E2020 一般名：ドネペジル 製品名：アリセプト

薬効／作用機序：アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤			自社品
[概要] 神経伝達物質のアセチルコリンを分解する酵素であるアセチルコリンエステラーゼを阻害することにより、脳内アセチルコリン濃度を高め、アルツハイマー型認知症 (AD) の認知症症状の進行を抑制します。軽度および中等度のAD治療剤として、世界90カ国以上で承認されており、米国、日本、カナダ、中南米やアジアの一部の国などでは高度ADにも承認されています。日本とフィリピンにおいてはレビー小体型認知症の適応も取得しています。			
高度アルツハイマー型認知症 (効能追加)	339試験	中国 申請 (2015年2月)	経口剤
ダウン症候群の退行様症状 (効能追加)	345試験	日本 P II	経口剤

〇パッチ製剤について開発主体が帝國製薬に変更となったため、本表から削除しました。

開発品コード：E2007 一般名：ペランパネル 製品名：フィコンパ/Fycompa

薬効／作用機序：抗てんかん剤/AMPA受容体拮抗剤			自社品
[概要] グルタミン酸受容体のサブタイプであるAMPA受容体へのグルタミン酸の結合を選択的に阻害します。部分てんかんの併用療法に対して日本、欧州、米国およびアジアなど、55カ国以上で承認を取得しています。また、全般てんかんの強直間代発作の併用療法の適応についても、日本、米国、欧州などで承認を取得しています。			
経口懸濁液 (剤形追加)		○ 米国 承認 (2016年4月) ○ 欧州 承認 (2016年9月)	経口剤
部分てんかん単剤療法 (効能追加)	— 342試験	○ 米国 申請 (2016年9月) ◎ 日本 P III	経口剤
○ レノックス・ガストー症候群 (効能追加)	338試験	日米欧 P III	経口剤
○ てんかん小児適応 (効能追加)	311試験	日米欧 P III	経口剤

開発品コード：E2006 一般名：lemborexant

薬効／作用機序：オレキシン受容体拮抗剤			自社品
[概要] 睡眠と覚醒の調整に関与するオレキシンの受容体に拮抗することで、覚醒状態を鎮め、自然な睡眠の誘発・維持を期待しています。			
○ 不眠障害	304試験	日米欧 P III	Purdue Pharmaと共同開発 経口剤
○ アルツハイマー型認知症に伴う不規則睡眠覚醒リズム障害	202試験	日米 P II	Purdue Pharmaと共同開発 経口剤

開発品コード：E2609

薬効／作用機序：アルツハイマー病治療剤/βサイト切断酵素 (BACE) 阻害剤			自社品
[概要] アミロイド前駆体タンパク質のβサイト切断酵素であるBACEを阻害することで、ペータアミロイドの総量を低下させ、アルツハイマー病の進行を抑制することを期待しています。			
○ 早期アルツハイマー病	301/302試験 (MISSION AD1/2)	日米欧 P III	Biogen Inc.と共同開発 経口剤

開発品コード：BAN2401

薬効／作用機序：アルツハイマー型認知症治療剤/抗Aβプロトフィブリルモノクローナル抗体			導入品 (バイオアーキティック ニューロサイエンス)
[概要] ペータアミロイド (Aβ) プロトフィブリルに対するIgG1抗体です。神経毒性を呈することが報告されているAβプロトフィブリルを除去することで、アルツハイマー型認知症の進行を抑制することを期待しています。			
アルツハイマー型認知症	201試験	日米欧 P II	Biogen Inc.と共同開発 注射剤

○：2016年4月以降の進捗、◎：2017年1月以降の進捗



開発品コード：APD356 一般名：lorcaserin 製品名：Belvia

薬効／作用機序：肥満症治療剤／セロトニン2C受容体作動剤	導入品 (Arena Pharmaceuticals)
<p>[概要] 新規作用機序の肥満症治療剤です。選択的に脳内のセロトニン2C受容体を刺激することにより摂食を抑制し、満腹感を促進すると考えられています。本剤は、米国において、Body Mass Index (BMI) が30kg/m<sup>2</sup>以上、あるいは少なくとも1つ以上の体重に関連する合併症を有するBMIが27kg/m<sup>2</sup>以上の成人患者様の体重管理を目的とした食事療法と運動療法に対する補助療法として、2012年6月に米国食品医薬品局 (FDA) より承認され、米国麻薬取締局によるスケジューリング指定を経て、2013年6月に発売されました。2016年7月にメキシコ、2016年12月にブラジルにおいて、それぞれ承認を取得しました。</p>	
○ 肥満症1日1回製剤 (剤形追加)	米国 承認 (2016年7月) 経口剤
肥満症	日本 P I 経口剤

開発品コード：E2027

アルツハイマー型認知症	米国 P I	自社品	経口剤
-------------	--------	-----	-----

開発品コード：E2730

◎ てんかん	米国 P I	自社品	経口剤
--------	--------	-----	-----

○：2016年4月以降の進捗、◎：2017年1月以降の進捗

## (2) がん

開発品コード：E7389 一般名：エリブリン 製品名：ハラヴェン

薬効／作用機序：抗がん剤／微小管ダイナミクス阻害剤				自社品
【概要】クロイソカイメン由来のハリコンドリンBの合成類縁体で、微小管の伸長を阻害し細胞周期を停止させることで抗腫瘍活性を示します。米国、欧州、日本、アジアなど、60カ国以上で乳がんに係る承認を取得しています。また、米国、日本、欧州などにおいて悪性軟部腫瘍に係る適応追加の承認を取得しています。				
○ 乳がん	304試験	中国	申請（2016年7月）	注射剤
○ 悪性軟部腫瘍（効能追加）	309試験	欧州	承認（2016年5月・脂肪肉腫）	注射剤
膀胱がん（効能追加）	702試験	米欧	PI/II	注射剤
トリプルネガティブ乳がん （抗PD-1抗体ペムブロリズマブとの併用療法）	218試験	米国	PI/II	Merck & Co., Inc., Kenilworth, N.J., U.S.A.と共同開発 注射剤
○ HER2陰性乳がん（PEGPH20との併用療法）	219試験	米国	PI/II	Halozyneと共同開発 注射剤
リボソーム製剤（剤形追加）	112試験	欧州	PI	注射剤

◎フェーズⅢ段階にあった、非小細胞肺がんを対象とした適応の開発を中止しました。

開発品コード：E7080 一般名：レンバチニブ 製品名：レンビマ/Kisplyx

薬効／作用機序：抗がん剤／分子標的治療薬				自社品
【概要】血管内皮増殖因子受容体(VEGFR)や線維芽細胞増殖因子受容体(FGFR)に加え、血小板由来増殖因子受容体(PDGFR)、KIT、RETなどの腫瘍血管新生あるいは腫瘍悪性化に関与する受容体型チロシンキナーゼ(RTK)に対する選択的阻害活性を有する経口投与可能な、自社創出の新規結合型チロシンキナーゼ阻害剤です。本剤は、VEGFR2とのX線共結晶構造解析から、新たな結合様式(タイプV)を有することが確認された薬剤であり、速度論的解析からは、標的分子に素早く結合し強力なキナーゼ阻害作用を示すことが確認されています。甲状腺がんに係る適応で、米国・日本・欧州、アジアなど50カ国以上で承認を取得しています。また腎細胞がんに係る適応で、米国、欧州などで承認を取得しています。なお、欧州における腎細胞がんに係る適応については、製品名Kisplyxを使用しています。				
◎ 甲状腺がん	308試験	中国	PIII	経口剤
腎細胞がん・セカンドライン（効能追加）	205試験	○ 米国 ○ 欧州 ○ アジア（フィリピン）	承認（2016年5月） 承認（2016年8月） 承認（2016年12月）	経口剤
○ 腎細胞がん・ファーストライン（効能追加）	—	日本	PI	
○ 腎細胞がん・ファーストライン（効能追加）	307試験	米欧	PIII	経口剤
肝細胞がん（効能追加）	304試験	日米欧中ア	PIII	2017年度申請予定 経口剤
非小細胞肺がん（RET転座）（効能追加）	209試験	日米欧ア	PII	経口剤
胆道がん（効能追加）	215試験	日本	PII	経口剤
固形がん（子宮内膜がん、腎細胞がん、頭頸部がん、 尿路上皮がん、非小細胞肺がん、メラノーマ）	111試験	米国	PI/II	Merck & Co., Inc., Kenilworth, N.J., U.S.A.と共同開発 経口剤/ 注射剤
固形がん（肝細胞がん、子宮内膜がんなど） （抗PD-1抗体ペムブロリズマブとの併用療法）	—	◎ 日本	PI	

\*肝細胞がんの申請予定時期を見直し、2016年度から2017年度に変更しました。

◎フェーズⅡ段階にあった子宮内膜がん（単剤療法）、メラノーマおよび非小細胞肺がん（サードライン・単剤療法）を対象とした適応の開発を中止しました。

○：2016年4月以降の進捗、◎：2017年1月以降の進捗

## 開発品コード：MORAb-003 一般名：ファルレッズマブ

薬効／作用機序：抗がん剤／ヒト化抗葉酸受容体 $\alpha$ モノクローナル抗体			自社品
[概要] 葉酸受容体 $\alpha$ (FRA) に対するヒト化IgG1抗体です。FRAが過剰発現しているがん腫に対して抗腫瘍効果を期待しています。			
プラチナ感受性卵巣がん	O11試験	日米欧 PII	注射剤

◎フェーズII段階にあった、非小細胞肺癌を対象とした適応の開発を中止しました。

## 開発品コード：MORAb-004

薬効／作用機序：抗がん剤／ヒト化抗エンドシアリンモノクローナル抗体			自社品
[概要] Tumor endothelial marker 1 (TEM-1)/エンドシアリンに対するヒト化IgG1抗体です。エンドシアリンを発現しているがん腫に対して抗腫瘍効果を期待しています。			
メラノーマ	201試験	米欧 PII	注射剤

◎フェーズII段階にあった、大腸がんおよび悪性軟部腫瘍を対象とした適応の開発を中止しました。

## 開発品コード：MORAb-009 一般名：amatuximab

薬効／作用機序：抗がん剤／キメラ型抗メソセリンモノクローナル抗体			自社品
[概要] メソセリンに対するキメラ型IgG1抗体です。メソセリンを発現しているがん腫に対して抗腫瘍効果を期待しています。			
中皮腫	003/201試験	米欧 PII	注射剤

## 開発品コード：E7777

薬効／作用機序：抗がん剤／インターロイキン2受容体結合部分とジフテリア毒素の融合タンパク製剤			自社品
[概要] インターロイキン 2 (IL-2) の受容体結合部分とジフテリア毒素の融合タンパク製剤であり、細胞表面上の IL-2 受容体と特異的に結合し、細胞内に移行したジフテリア毒素がタンパク質合成を阻害します。			
末梢性T細胞リンパ腫、皮膚T細胞性リンパ腫	205試験	日本 PII	注射剤

## 開発品コード：E7090

固形がん	日本 PI	自社品	経口剤
------	-------	-----	-----

## 開発品コード：MORAb-066

固形がん	米国 PI	導入品 (Janssen Biotech)	注射剤
------	-------	-----------------------	-----

## 開発品コード：E7046

固形がん	米欧 PI	自社品	経口剤
------	-------	-----	-----

## 開発品コード：H3B-6527

○ 肝細胞がん	米国 PI	自社品	経口剤
---------	-------	-----	-----

## 開発品コード：H3B-8800

○ 血液がん	米欧 PI	自社品	経口剤
--------	-------	-----	-----

## 開発品コード：E7438

○ B細胞性非ホジキンリンパ腫	日本 PI	導入品 (Epizyme, Inc)	経口剤
-----------------	-------	--------------------	-----

◎欧米でフェーズII試験段階にあった、E7820の大腸がんを対象とした適応の開発を中止しました。

○：2016年4月以降の進捗、◎：2017年1月以降の進捗

## (3) 消化器

開発品コード：E3810 一般名：ラベプラゾール 製品名：パリエット/アシフェックス

薬効/作用機序：プロトンポンプ阻害剤	自社品
[概要] プロトンポンプ阻害作用に基づき、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、逆流性食道炎、ヘリコバクター・ピロリ除菌、ラベプラゾールを含むヘリコバクター・ピロリ除菌用3剤併用バック製剤などの承認を取得しています。2014年12月に低用量アスピリン投与時における胃潰瘍または十二指腸潰瘍の再発抑制に関する効能・効果および5mg錠の剤形追加の承認を取得しました。	
○ PPI抵抗性逆流性食道炎の維持療法における 1回10mgの1日2回投与（用法・用量追加）	311試験 日本 申請（2016年10月） EAファーマと共同開発 経口剤

開発品コード：AJG511 一般名：ブテソニド

薬効/作用機序：潰瘍性大腸炎治療剤/局所作用型ステロイド	導入品（Dr. Falk Pharma）
[概要] 日本初のブテソニドを有効成分とする泡状の注腸製剤（注腸フォーム製剤）です。ブテソニドは局所作用型ステロイドであるため全身性の副作用の低減が期待でき、さらに、泡状であることから直腸およびS状結腸の炎症部位に薬剤が到達し、投与後にも漏れ出しにくい特徴があります。ブテソニド注腸フォーム剤は、欧州においては既に発売されています。	
○ 潰瘍性大腸炎	CT1試験 日本 申請（2016年10月） EAファーマとキッセイ薬品の共同開発 注腸剤

開発品コード：AJG533 一般名：エロビキシバット

薬効/作用機序：慢性便秘症治療剤/胆汁酸トランスポーター阻害剤	導入品（Albireo）
[概要] 新規作用機序をもつ経口便秘薬です。胆汁酸の再吸収に係わる胆汁酸トランスポーターを阻害し、腸管内の胆汁酸を増加させて自然な排便を促します。	
◎ 慢性便秘症	CT1試験 日本 申請（2017年2月） EAファーマと持田製薬の共同開発 経口剤

開発品コード：AJM300 一般名：カロテグラストメチル

薬効/作用機序：潰瘍性大腸炎治療剤/ $\alpha$ 4インテグリン阻害剤	自社品
[概要] $\alpha$ 4インテグリンを阻害することにより、リンパ球の接着・浸潤を防ぐ新規作用機序を有します。経口 $\alpha$ 4インテグリン阻害剤として世界ではじめての製品化をめざしています。	
潰瘍性大腸炎	日本 PIII EAファーマとキッセイ薬品の共同開発 経口剤

開発品コード：AJG555

薬効/作用機序：慢性便秘症治療剤/ポリエチレングリコール製剤	導入品（Norgine）
[概要] ポリエチレングリコール製剤により腸管内の浸透圧制御を行うことで排便を促す経口便秘薬です。	
慢性便秘症	CT1/CT2試験 日本 PIII EAファーマが開発 経口剤

一般名：イソロイシン・ロイシン・バリン顆粒 製品名：リーバクト配合顆粒

薬効/作用機序：分岐鎖アミノ酸製剤	自社品
[概要] 味の素が開発した分岐鎖アミノ酸製剤であり、非代償性肝硬変における血清アルブミン値を改善する薬剤です。日本では「食事摂取量が十分にもかかわらず低アルブミン血症を呈する非代償性肝硬変患者の低アルブミン血症の改善」を効能・効果とし、EAファーマより販売されています。	
低アルブミン血症	中国 PIII 2017年度申請予定 EAファーマと共同開発 経口剤

開発品コード：E6007

薬効/作用機序：潰瘍性大腸炎治療剤/インテグリン活性化阻害剤	自社品
[概要] インテグリン活性化阻害による白血球全般の接着・浸潤を抑制する新規作用機序を有する化合物です。科学技術振興機構の産学共同実用化開発事業として筑波大学と共同で開発を進めています。	
○ 潰瘍性大腸炎	201試験 日本 PII EAファーマが開発 経口剤

開発品コード：E6130

○ 炎症性腸疾患	日本 PI 自社品（EAファーマが開発） 経口剤
----------	--------------------------------

○：2016年4月以降の進捗、◎：2017年1月以降の進捗

## (4) その他

開発品コード：D2E7 一般名：アダリムマブ 製品名：ヒュミラ

薬効／作用機序：ヒト型抗ヒトTNF $\alpha$ モノクローナル抗体製剤	導入品 (Abbvie)
[概要] 世界で最初のヒト型抗ヒト TNF $\alpha$ モノクローナル抗体であり、自己免疫疾患の炎症反応に関わる中心的なサイトカインである TNF $\alpha$ を中和します。日本では関節リウマチ（関節の構造的損傷の防止を含む）、乾癬、クローン病、強直性脊椎炎、若年性特発性関節炎、腸管性パーチェット病、潰瘍性大腸炎、非感染性ぶどう膜炎の適応を取得しています。	
○ 非感染性ぶどう膜炎（効能追加）	日本 承認（2016年9月） Abbvieと共同開発
	注射剤

開発品コード：E6011

薬効／作用機序：抗フラクタルカイン抗体	自社品
[概要] エーザイグループのカン研究所において創製された、世界初のヒト化抗フラクタルカインモノクローナル抗体です。関節リウマチや炎症性腸疾患をはじめとする炎症性疾患の血管内皮細胞に発現し、炎症反応を惹起するフラクタルカインを中和することによる抗炎症作用を期待しています。	
○ 関節リウマチ	201/202試験 日本 P II 注射剤
○ 原発性胆汁性胆管炎	ET1試験 日本 P II EAファーマが開発 注射剤
クローン病	101試験 日本 P I / II EAファーマが開発 注射剤

開発品コード：MORAb-022

関節リウマチ（抗体）	米国 P I	自社品	注射剤
------------	--------	-----	-----

開発品コード：E6071 (GSK3050002)

自己免疫疾患（抗体）	欧州 P I	自社品（グラクソスミスクラインと共同開発）	注射剤
------------	--------	-----------------------	-----

○：2016年4月以降の進捗、◎：2017年1月以降の進捗